

## VF 検査・VE 検査について

当院では嚥下機能評価として、嚥下回診以外に、嚥下造影検査(VF 検査)、嚥下内視鏡検査(VE 検査)があります。

11 月から Claio が導入されて、VF 検査結果が電子カルテ上で閲覧可能となりました。

今回は VF 検査・VE 検査の特徴と、VF 検査の閲覧方法についてご紹介します。

### VF 検査 (嚥下造影検査)

造影剤の入った模擬食品を用いて、いろいろな姿勢で摂食し、嚥下動態を観察する検査です。透視室にて行います。担当医：神経内科 吉村医師

### VE 検査(嚥下内視鏡検査)

喉頭ファイバーを鼻腔から挿入し、咽喉頭の様子を観察しながら、実際の食物を嚥下します。耳鼻科にて行います。担当：耳鼻咽喉科 原田医師

## VF 検査と VE 検査の比較

	VF 検査 嚥下造影	VE 検査 嚥下内視鏡
被爆	あり	なし
患者の苦痛	±	+
手軽さ	×	○
時間的制約	あり	なし
実際の摂食時評価	×	◎
口腔評価	○	△
咽頭・喉頭評価	◎	◎
食道評価	◎	×

(藤島一郎：目が見える嚥下障害：P2,医歯薬出版,2006)

どちらかが優れているという訳ではなく、両者は補完的なものとして捉えています。嚥下回診にて評価し、精査が必要と判断した場合には嚥下チームから主治医へ VF 検査/VE 検査実施を提案しています。

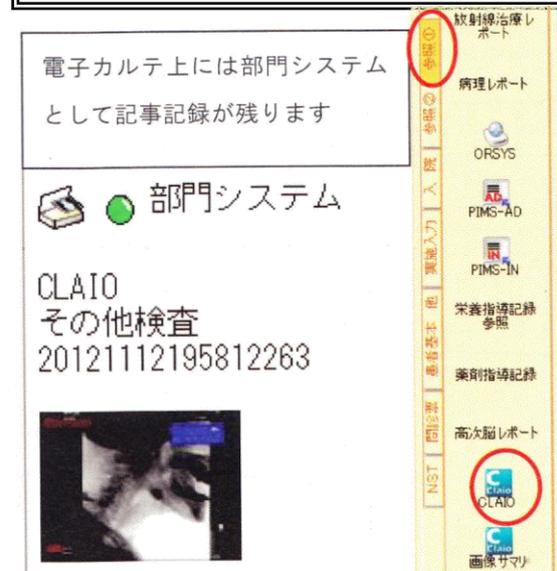
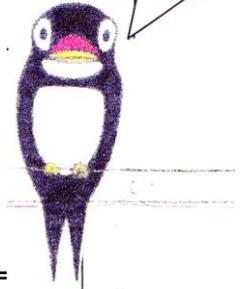
## VF 検査結果の閲覧について

※VF 検査結果が閲覧可能なのは 2012 年 11 月以降に検査された方に限ります。

### 手順

1. 電子カルテ 参照①をクリック
2. Claio を立ち上げる
3. 見たい動画がクリックする
4. 動画ボタンを押す

VF 動画が見られるよ!



動画ボタンをクリック



※なお、VE(嚥下内視鏡)検査の結果については耳鼻咽喉科原田医師へお問い合わせください。